



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場取引所 東 名

上場会社名 大同特殊鋼株式会社

コード番号 5471 URL <http://www.daido.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 嶋尾 正

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 東 真一郎

TEL 052-963-7501

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日

平成24年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	233,724	△3.1	9,604	△34.0	9,304	△34.6	5,507	△34.3
24年3月期第2四半期	241,308	5.2	14,562	△10.8	14,226	△10.9	8,383	△25.7

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 151百万円 (△97.3%) 24年3月期第2四半期 5,608百万円 (△30.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	12.70	—
24年3月期第2四半期	19.33	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年3月期第2四半期	500,213		229,310		39.3
24年3月期	512,968		231,512		38.7

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 196,337百万円 24年3月期 198,653百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	3.50	—	4.00	7.50
25年3月期	—	3.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	450,000	△8.0	17,500	△44.5	17,000	△46.5	10,000	△56.0	23.05

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	434,487,693 株	24年3月期	434,487,693 株
25年3月期2Q	722,207 株	24年3月期	713,325 株
25年3月期2Q	433,770,296 株	24年3月期2Q	433,812,731 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は【添付資料】P. 4「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
4. 補足説明資料	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要やエコカー補助金等の政策効果を背景に緩やかな回復が続いてきましたが、海外経済が減速感を深める中で足踏み状態へ移行し、弱めの動きとなってまいりました。特殊鋼の主要需要先である自動車および産業機械・IT 関連需要に関しても、自動車関連は堅調な推移を続けてきたものの、産業機械・IT 向けについては海外景気の減速や円高による輸出の停滞等を背景として需要調整局面が長期化しております。

このような経営環境のもと当社グループにおきましては、急激な需要変化に対して柔軟に対処するとともに、知多工場製鋼プロセス合理化等の事業課題に取り組んでまいりました。

この結果、当第 2 四半期連結累計期間の売上高は、景気動向の悪化と産業機械・IT 関連製品を中心とした在庫調整等により、前年同期比75億84百万円減収の2,337億24百万円となりました。また、経常利益につきましても、売上高の減少および知多工場における工事関連費用が発生したこと等から、前年同期比49億22百万円減益の93億4百万円、四半期純利益は55億7百万円となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

なお、第 1 四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値によっております。

#### ①特殊鋼鋼材

特殊鋼鋼材部門につきましては、自動車関連需要は国内外市場の販売が概ね順調だったことから総じて堅調に推移してきましたが、産業機械向け需要が海外経済の減速と在庫調整影響を受けて大きく減少いたしました。

こうした需要環境のもと当社におきましては、需要動向変化を注視しつつ夏季電力制約や知多工場の大型工事に対応するために生産平準化と備蓄運営を実施し、併せてコスト削減についても継続して取り組んでまいりました。

その結果、当第 2 四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は、売上数量の減少と鉄スクラップ価格に連動した販売価格の見直しにより、前年同期比6.2%減少の901億75百万円となりました。

#### ②機能材料・磁性材料

ステンレスおよび高合金製品につきましては、自動車向け需要は概ね堅調に推移したものの、産業機械・IT 関連需要は市況の低迷と在庫調整により低位にとどまりました。磁材製品に関しては、タイの生産拠点が復旧し生産活動を再開いたしました。F A サーボモーター磁石の在庫調整と IT 市況悪化による HDD 磁石の低迷から、売上高は減少いたしました。粉末製品に関しては、ハイブリッド車の販売好調などを受け高水準の需要が継続しており、売上高は増加いたしました。チタン製品に関しても、ユーロ安影響から輸出は低位にとどまったものの、国内販売の拡大によって売上は増加いたしました。

その結果、当第 2 四半期連結累計期間の機能材料・磁性材料の売上高は、需要の調整と一部製品の販売価格がニッケルおよびレアアース価格に連動したことから、前年同期比13.1%減少の720億83百万円となりました。

#### ③自動車部品・産業機械部品

自由鍛造品につきましては、航空機関連需要は堅調なもの、その他の分野では欧州および新興国の景気減速と円高影響から輸出が伸び悩んでおり、低位で推移しております。精密鋳造品に関しては、欧州景気の悪化影響からターボ関連需要の調整が継続しております。型鍛造製品につきましては、産業機械向け需要は減少しましたが、東南アジアを中心としたトラック関連需要の拡大を受け、引き続き堅調に推移いたしました。

その結果、当第 2 四半期連結累計期間の自動車部品・産業機械部品の売上高は、前年同期比 2.7%増加の475億26百万円となりました。

#### ④エンジニアリング

エンジニアリング部門につきましては、中国等海外案件の売上寄与と磁石製造関連会社の工場建設工事の進捗により、昨年対比の売上高は大きく増加いたしました。

その結果、当第 2 四半期連結累計期間のエンジニアリングの売上高は、前年同期比76.7%増加の193億 5 百万円となりました。

#### ⑤流通・サービス

流通・サービス部門につきましては、海外商社の需要調整影響等により当第 2 四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比7.5%減少の46億33百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当社グループの当第 2 四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ127億54百万円減少し5,002億13百万円となりました。総資産の主な減少の内訳と要因は次のとおりです。

- ・「受取手形及び売掛金」の減少73億68百万円…主として売上の減少による減少。
- ・「投資有価証券」の減少75億38百万円…主として保有株式の時価の下落による減少。

また、当社グループの当第 2 四半期連結会計期間末の少数株主持分を含めた純資産額は、前連結会計年度末に比べ22億 2 百万円減少し2,293億10百万円となりました。純資産額の主な減少の内訳と要因は次のとおりです。

- ・「利益剰余金」の増加37億72百万円…主として四半期純利益計上による増加。
- ・「その他有価証券評価差額金」の減少60億90百万円…主として保有株式の時価の下落による減少。

この結果、当第 2 四半期連結会計期間末の自己資本比率は39.3%となり、前連結会計年度末と比べ0.6ポイント上昇しております。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の日本経済は、欧州および中国などの新興国景気の減速影響から当面は弱含みで推移すると考えられます。特殊鋼の主要需要先である日系自動車産業に関しても、エコカー補助金効果の一巡に加え中国市場における販売不振が懸念されることから、需要下振れリスクに十分留意していく必要があると思われまます。また産業機械・IT関連需要についても海外を中心とした景気動向の影響を大きく受けることから、しばらくは低位で推移する可能性が高いと考えられます。他方、鉄スクラップ、ニッケル等の原材料価格に関しては、景気の不透明感を反映して当面は低位で推移していくと見込まれます。

このような経営環境のなか当社グループにおいては、徹底したコスト削減への取組みによって収益確保に努めるとともに、知多工場への戦略投資をはじめとする事業基盤の強化と、磁石・ターボ部品・粉末材料といった成長商品の拡大戦略を推進し、本年3月に発表した2014中期経営計画の諸施策を着実に実行してまいります。

以上のことから、当期の連結業績につきましては、売上高4,500億円、営業利益175億円、経常利益170億円、当期純利益100億円となる見通しであり、前回（平成24年4月27日）公表した業績予想を修正しております。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	62,161	58,864
受取手形及び売掛金	102,995	95,626
たな卸資産	90,920	93,313
その他	9,139	8,645
貸倒引当金	△251	△428
流動資産合計	264,965	256,021
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	50,669	51,560
機械装置及び運搬具（純額）	62,488	61,747
その他（純額）	43,253	43,860
有形固定資産合計	156,412	157,168
無形固定資産		
のれん	1	232
その他	2,521	3,288
無形固定資産合計	2,523	3,521
投資その他の資産		
投資有価証券	62,021	54,482
その他	27,446	29,413
貸倒引当金	△400	△393
投資その他の資産合計	89,067	83,502
固定資産合計	248,003	244,192
資産合計	512,968	500,213

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	72,163	73,918
短期借入金	48,024	32,410
1年内償還予定の社債	800	10,800
未払法人税等	2,004	2,192
賞与引当金	6,713	6,810
その他の引当金	426	231
その他	20,119	17,585
流動負債合計	150,251	143,948
固定負債		
社債	40,100	30,050
長期借入金	66,764	74,413
退職給付引当金	6,799	6,912
その他の引当金	1,315	1,235
その他	16,225	14,344
固定負債合計	131,204	126,955
負債合計	281,456	270,903
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	37,172	37,172
資本剰余金	28,542	28,542
利益剰余金	126,843	130,616
自己株式	△335	△339
株主資本合計	192,223	195,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,456	365
繰延ヘッジ損益	△6	△2
土地再評価差額金	1,654	1,654
為替換算調整勘定	△1,673	△1,671
その他の包括利益累計額合計	6,430	346
少数株主持分	32,858	32,972
純資産合計	231,512	229,310
負債純資産合計	512,968	500,213

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)
売上高	241,308	233,724
売上原価	202,449	199,865
売上総利益	38,859	33,859
販売費及び一般管理費	24,296	24,254
営業利益	14,562	9,604
営業外収益		
受取利息	45	55
受取配当金	778	727
持分法による投資利益	344	364
その他	803	890
営業外収益合計	1,971	2,038
営業外費用		
支払利息	1,190	1,051
固定資産除却損	187	471
為替差損	556	368
その他	373	447
営業外費用合計	2,306	2,339
経常利益	14,226	9,304
特別利益		
固定資産売却益	—	1,400
その他	—	14
特別利益合計	—	1,415
特別損失		
投資有価証券評価損	1,454	1,178
その他	408	354
特別損失合計	1,863	1,533
税金等調整前四半期純利益	12,363	9,185
法人税、住民税及び事業税	2,066	2,298
法人税等調整額	725	453
法人税等合計	2,792	2,752
少数株主損益調整前四半期純利益	9,571	6,433
少数株主利益	1,187	925
四半期純利益	8,383	5,507

四半期連結包括利益計算書  
第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,571	6,433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,687	△6,272
繰延ヘッジ損益	3	3
為替換算調整勘定	△250	18
持分法適用会社に対する持分相当額	△29	△31
その他の包括利益合計	△3,963	△6,282
四半期包括利益	5,608	151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,505	△576
少数株主に係る四半期包括利益	1,103	728

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	12,363	9,185
減価償却費	9,807	9,390
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	13	144
賞与引当金の増減額 (△は減少)	74	54
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	77	65
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△492	△274
受取利息及び受取配当金	△823	△783
支払利息	1,190	1,051
為替差損益 (△は益)	444	278
持分法による投資損益 (△は益)	△344	△364
投資有価証券売却損益 (△は益)	5	△5
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,454	1,178
有形固定資産売却損益 (△は益)	7	△1,403
有形固定資産除却損	248	543
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,942	9,658
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△306	△581
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,813	△879
その他	△1,435	△2,763
小計	22,157	24,496
利息及び配当金の受取額	866	795
利息の支払額	△1,188	△1,083
法人税等の支払額	△4,650	△1,531
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,184	22,677
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△0	△477
定期預金の払戻による収入	100	—
有形固定資産の取得による支出	△9,654	△11,273
有形固定資産の売却による収入	60	2,470
投資有価証券の取得による支出	△10	△3,025
投資有価証券の売却による収入	15	6
貸付けによる支出	△339	△794
貸付金の回収による収入	57	319
その他	△580	△1,243
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,351	△14,016

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,385	△6,766
長期借入れによる収入	—	9,176
長期借入金の返済による支出	△10,487	△13,445
社債の償還による支出	△50	△50
配当金の支払額	△1,733	△1,732
少数株主への配当金の支払額	△301	△653
その他	△118	534
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,305	△12,936
現金及び現金同等物に係る換算差額	△444	△258
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,916	△4,534
現金及び現金同等物の期首残高	47,341	61,956
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	536	—
連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	766
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,961	58,188

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## I 前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品・ 産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注 1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
売上高								
外部顧客への売上高	96,140	82,938	46,291	10,928	5,009	241,308	—	241,308
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	37,380	8,598	17,229	798	4,240	68,247	△68,247	—
計	133,521	91,537	63,520	11,727	9,249	309,556	△68,247	241,308
セグメント利益	3,586	7,476	2,026	735	738	14,563	△1	14,562

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品・ 産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注 1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
売上高								
外部顧客への売上高	90,175	72,083	47,526	19,305	4,633	233,724	—	233,724
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	33,565	8,303	15,382	746	5,307	63,306	△63,306	—
計	123,741	80,387	62,908	20,051	9,941	297,031	△63,306	233,724
セグメント利益	2,391	4,097	1,749	641	727	9,608	△3	9,604

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第 1 四半期連結会計期間より、会社組織の改定に伴い、報告セグメントを従来の「特殊鋼鋼材」「電子・磁性材料」「自動車部品・産業機械部品」「エンジニアリング」「新素材」および「流通・サービス」の 6 区分から、「特殊鋼鋼材」「機能材料・磁性材料」「自動車部品・産業機械部品」「エンジニアリング」および「流通・サービス」の 5 区分に変更しております。

なお、前第 2 四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第 2 四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 4. 補足説明資料

平成24年10月31日  
大同特殊鋼株式会社

## 平成25年3月期 第2四半期決算発表

連 結

(1) 当第2四半期のセグメント別売上高  
(単位：百万円、%)

	24年9月	(前年同期差)	
	第2四半期	増減額	増減率
特殊鋼鋼材	90,175	-5,965	-6.2
機能材料・磁性材料	72,083	-10,854	-13.1
自動車・産業機械部品	47,526	1,234	2.7
エンシ`ニアリンク`	19,305	8,377	76.7
流通・サービ`s	4,633	-375	-7.5
計	233,724	-7,584	-3.1

(2) 要約連結損益計算書 (四半期累計期間)  
(単位：百万円、%)

	24年9月	(前年同期差)	
	第2四半期	増減額	増減率
売上高	233,724	-7,584	-3.1
営業利益	9,604	-4,957	-34.0
営業外収益	2,038	67	-
営業外費用	2,339	32	-
経常利益	9,304	-4,922	-34.6
特別利益	1,415	1,415	-
特別損失	1,533	-329	-
税引前純利益	9,185	-3,177	-
法人税等	2,752	-39	-
少数株主利益	925	-261	-
当期純利益	5,507	-2,876	-34.3

## (3) 当第2四半期の経常利益増減要因 (前年同期対比)

(単位：億円) (参考：原料市況)

増益要因	金額	減益要因	金額	23年9月 第2四半期	24年9月 第2四半期	
1. 原燃料等市況	60	1. 販売数量減少	27	H2建値 (千円/t)	31.7	22.6
2. 営業外損益	1	2. 販売価格下落	59	ニッケル(LME) (\$/1b)	10.52	7.60
		3. 内容構成差他	8	モリブデン(MW) (\$/1b)	15.7	12.8
		4. 固定費の増加	10			
		5. 変動費悪化	6			
計(a)	61	計(b)	110			
		差引(a) - (b)	-49			

## (4) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 24年3月末	当第2四半期 24年9月末	増減	科目	前期 24年3月末	当第2四半期 24年9月末	増減
流動資産	264,965	256,021	-8,944	負債	281,456	270,903	-10,552
現金	62,161	58,864	-3,297	営業債務	72,163	73,918	1,754
営業債権	102,995	95,626	-7,368	有利子負債	156,336	149,129	-7,207
たな卸資産	90,920	93,313	2,392	その他	52,956	47,856	-5,099
その他	8,887	8,217	-670				
固定資産	248,003	244,192	-3,810	純資産	231,512	229,310	-2,202
有形固定資産	156,412	157,168	756	株主資本	192,223	195,991	3,767
無形固定資産	2,523	3,521	998	その他の包括利益 累計額	6,430	346	-6,084
投資その他の資産	89,067	83,502	-5,565	少数株主持分	32,858	32,972	114
資産合計	512,968	500,213	-12,754	負債純資産合計	512,968	500,213	-12,754

## (5) 予想セグメント別売上高

(単位：百万円、%)

	予想 (前期差)		
	25年3月期	増減額	増減率
特殊鋼鋼材	175,200	-19,784	-10.1
機能材料・磁性材料	140,900	-23,698	-14.4
自動車・産業機械部品	93,100	-1,070	-1.1
エンジン・エアリンク	32,200	6,431	25.0
流通・サービス	8,600	-1,032	-10.7
計	450,000	-39,154	-8.0

## (6) 業績予想

(単位：百万円、%)

	予想 (前期差)		
	25年3月期	増減額	増減率
売上高	450,000	-39,154	-8.0
営業利益	17,500	-14,033	-44.5
経常利益	17,000	-14,762	-46.5
当期純利益	10,000	-12,717	-56.0

## (7) 予想経常利益増減要因 (前期対比)

(単位：億円)

(参考：原料市況)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 原燃料等市況	9.5	1. 販売数量減少	7.4
		2. 販売価格下落	12.4
		3. 内容構成差他	1.9
		4. 固定費の増加	1.1
		5. 変動費悪化	7
		6. 営業外損益	8
計 (a)	9.5	計 (b)	24.3
		差引 (a) - (b)	-14.8

	前期 24年3月期	予想 25年3月期
H2 建値 (千円/t)	28.8	21.3
ニッケル(LME) (\$/1b)	9.56	7.80
モリブデン(MW) (\$/1b)	14.7	12.9

## (8) 設備投資額 (計画ベース) および減価償却費

(単位：百万円)

	前期 (24年3月期)		当期 (25年3月期)		増減額	
	上半期	通期	上半期	通期予想	上半期	通期
設備投資額	11,200	39,700	10,200	25,900	-1,000	-13,800
減価償却費	9,807	20,463	9,390	19,500	-417	-963

## (参考) 業績の推移

(単位：百万円)

	実績				予想
	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期
売上高	532,655	362,507	472,062	489,154	450,000
営業利益	9,115	△ 14,050	32,730	31,533	17,500
経常利益	8,533	△ 13,994	31,726	31,762	17,000
当期純利益	△ 8,147	△ 14,610	23,003	22,717	10,000